

2008年9月に改訂しました。

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう、大切に保管してください。

高血圧に伴うどうき・手足のしびれ

妙泉 牛黄清心元[®]

第2類医薬品

ごおうせいしんげん

牛黄清心元はその原方(基本処方)が中国や韓国の古典に収載されており、古くから血液循環器系の改善を目的として用いられてきました。

高血圧に伴う症状は、人それぞれに異なり、どうき、手足のしびれ、肩のこり、のぼせ、耳なり、めまい、頭重感など一つの症状のみでなく、複数の症状を同時に訴えることがあります。

牛黄清心元は、これらの症状に用いてすぐれた効果をあらわします。

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

本剤の服用により、発疹・発赤、かゆみ、悪心・嘔吐、下痢などがあらわれた場合

効能・効果

高血圧に伴う次の諸症状：

どうき、手足のしびれ、肩のこり、のぼせ、耳なり、めまい、頭重感。

どうき

胸がドキドキするのは走ったり、激しい運動をした時、驚いた時に生じますが、これは病的ではありません。高血圧に伴うどうきは、安静時、あるいは少しの運動で心臓が普通以上に激しく鼓動する症状です。

手足のしびれ

手足のしびれは、高血圧により局部が緊張したり、血液循環が障害されてうっ血が生じて起こる症状です。時にはふるえを伴います。

肩のこり

肩の使いすぎ、又逆に長時間一定の姿勢を保った場合等に、肩のこりが起こります。高血圧に伴う肩のこりは、頭部の血管の障害で圧力が高まり、首すじから肩にかけて生じる症状です。

のぼせ

頭部への血液供給が多過ぎるために生じる症状で、頭部の熱感、顔のほてりがあります。高血圧に伴うのぼせも同じような原因と考えられます。

耳なり

高血圧に伴う耳なりは、急激に血圧が上昇し、脳の血流が悪くなって起こると考えられます。一般に、耳なりは聴覚をつかさどる蝸牛神経系の障害で起こり、脳の循環障害による蝸牛神経系への影響が考えられます。

(裏面に続く)

めまい

高血圧に伴うめまいは、運動感覚や位置感覚の異常をかなり明瞭に自覚するめまいと異なり、体がふわっとする感じ、頭の中で何かが揺れ動く感じ、自分の体がなんとなく不安定な感じ等で、循環器の疾患が原因で起こります。

頭重感

かぜにかかった時などの頭痛と違って、頭重感は頭の上から下部にかけてずっしりと重いものがおおいかなさっている感じで、高血圧になった方のほとんどが体験する症状です。

用法・用量

次の用法・用量を守り、朝夕服用しやすい大きさに適宜ください、或いはかみくだいて水又は温湯で服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1/2丸	2回
15歳未満の小児	服用しないこと	

成分・分量

牛黄清心元は、1丸中に下記の成分・分量を含有します。

ゴオウ(牛黄)……………	30mg	ダイズオウケン(大豆黄卷)130mg
ジャコウ(麝香)……………	5mg	アキョウ(阿膠)……………130mg
ニンジン(人參)……………	160mg	シャクヤク(芍薬)……………110mg
レイヨウカク(羚羊角)…	215mg	バクモンドウ(麦門冬)…110mg
カンゾウ(甘草)……………	320mg	オウゴン(黄芩)……………110mg
ブクリョウ(茯苓)……………	84mg	トウキ(当帰)……………110mg
センキュウ(川芎)……………	180mg	ボウフウ(防風)……………120mg
キキョウ(桔梗)……………	80mg	ビャクジュツ(白朮)……110mg
サイコ(柴胡)……………	80mg	リュウノウ(竜腦)…………… 90mg
サンヤク(山薬)……………	450mg	ビャクレン(白薇)…………… 46mg
ホオウ(蒲黄)……………	160mg	ショウキョウ(生姜)…… 46mg
シンギク(神麩)……………	160mg	タイソウ(大棗)……………150mg
ケイヒ(桂皮)……………	130mg	

添加物として、ハチミツ、金箔を含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)。
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。
- (5)1丸を分割した残りを服用する場合は、セロファン等に包んで保管し早めに服用してください。
- (6)本剤は生薬製剤ですから、製品により若干色調、味等が異なることがあります。効果には変わりありません。

お問い合わせ先

日本製薬工業株式会社 お客様相談室 電話(0568)42-1234
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)
<http://www.sg-nsk.co.jp/>

製造販売元

日本製薬工業株式会社

愛知県小牧市小木東一丁目186

®：登録商標

C08